

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

平成 29 年度通常総会

5月11日(木)川崎日航ホテル藤の間にて、会員24名、オブザーバー2名合計26名の参加を得て開催した。菅原会長から、平成29年度事業方針として「川崎異業種研究会の活力増強」が示され、事業内容として以下の3つの骨子が述べられた。(1)会員交流事業の促進(定例会・分科会・県外視察会)(2)会員増強活動の促進(3)企業間連携・産学官連携事業への促進



川異研を今年度もよろしく申し上げます

また、以下の議案が満場一致で承認された。

- (1)平成28年度事業報告および収支決算承認の件
- (2)平成29年度事業計画(案)および収支予算(案)承認の件
- (3)役員改選の件

事業計画については、定例会は通常第2木曜日に設定してきたが、木曜日に参加できない会員を考慮し、9月と11月は水曜日に設定、11月は全員参加型の「会員企業の5分間スピーチ」を計画した。また、2月には参加対象を会員のみならず従業員にも広げ、勉強できるテーマを計画するなど会員に、より満足いただけるよう工夫している旨説明がなされた。

6 月定例会

6月8日(木)午後6時より当所にて会員11名、オブザーバー3名、和光大学生2名合計16名の参加者を得て開催した。

今回は、「自衛隊に関する事項について」というテーマで、自衛隊神奈川県地方協力本部 募集課長 山口徳大氏に講演いただいた。まず初めに、今回のような場合は、平時に自衛隊のことを知ってもらいたい機会であ

ると言われたあと、大きな3つの任務、すなわち国の防衛、災害派遣、国際平和協力について、陸、海、空それぞれの活動概要がスライドを交えながら語られた。特に東日本大震災や大規模災害時の災害派遣写真には緊張が走った。被災地での危険な救助は、平素の訓練を応用したものとのことで、日々の訓練の賜物であることが伺われる。また、組織内部は様々な職種があり警察、消防、調理、事務等々、分野の多様性にも驚いた。最後に自衛隊の募集科目についての説明があり講演は終了した。当会は10月に呉市海上自衛隊視察を予定しており、より興味を持って臨めそうだ。

その後場所を移し懇親会を行った。講師の山口氏、同本部川崎出張所 所長 白岩祐輔氏も同席、積極的な交流が行われた。



自衛隊の説明をする山口講師とサポートの白岩氏



講演に熱心に耳を傾ける

6 月分科会

6月1日(木)午後6時30分より中原市民館第1会議室にて、会員6名、和光大学生15名の参加を得て開催した。今回のテーマは「メンタルヘルス不調は何か問題なのか？」

秋葉原社会保険労務士事務所 所長/社会保険労務士/精神保健福祉士 脊尾大雅氏に講演いただいた。

メンタルヘルス不調と通常のストレス反応は何か違うのか、そうならないためにどうすればよいのかについて、具体的に説明された。

懇親会ではストレスの受け流し方などについて、楽しく説明いただき、終始和やかな雰囲気でお話を深めた。



「メンタルヘルス不調とは」脊尾講師が語る

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191